

法制局議案 大史歴查

別紙地租改正局伺出仕官負ノ儀取調候慶昨八年五月伺書指令ニ出仕云々ト有之別段無等トモ有等トモ無之ニ付テハ伺出ノ通何等出仕申付差支無之儀ニ有之奏任云々ノ儀ハ伺ノ通御聽許相成左ノ通御指令相成可然我仰高裁候也 二月十八日

二月十日

九

大藏省判任官撰任并手當規則ヲ定ム

大藏省上申

當省判任官撰任并手當規則別冊ノ通相定自今施行ノ旨ニ候充手當等ハ都テ當省經費ヲ以テ支給勿論ニ候ハ尺御用置マテニ別冊相添此段一應上陳致シ置候也 二月十日

大藏省判任官專任并手當ノ規則

第一條 凡ソ判任官ヲ任用スル本省ハ本局丞各寮ハ頭ノ意見ヲ以テ豫ノ一課毎ニ其人負ヲ畧定シ其人負ノ内本官出仕備ヲ制限シ卿ニ上呈ス御ハ定額全ノ有餘不足ノ勘考シ之カ可否ヲ決スヘシ

但御決裁ノ書冊ハ職務課ニ藏置ス

第二條 一課ヲ設クル本省又ハ各寮凡必ス判任官
八名以上ヲ置キ常務ヲ擔當督査スルヲ則リトス判
任官五名乃至六七名ヲ以テ常務ヲ擔當シ或ハ臨時
一事ヲ督査スルカ如キハ別ニ一課ヲ置カス他ノ一
課ニ屬スルカ若クハ掛リノ名稱ヲ以テ便宜之ヲ處
置スヘシ

第三條 一課九等以上ノ人負ヲ畧定スル左ノ如シ

判任官八名以上ノ課

八等九等官ノ内 一頁

判任官二十名以上ノ課

八等官 一頁

九等官 一頁

判任官三十名以上ノ課

九等官 一頁

八等官 一頁

九等官 二頁

判任官四十名以上ノ課

八等官 二頁

九等官 二頁

判任官五十名以上ノ課

八等官 二頁

九等官 三頁

判任官六十名以上ノ課

八等官 三頁

九等官 三頁

右ノ如ク畧定スルト雖凡八等官負ヲ減シテ九等官
負ヲ増シ或ハ八等官九等官ニ不及場合ニ於テハ本

局丞並寮頭ノ注意ヲ以テ強メテ之ヲ減畧スルヲ
從事スヘシ

第四條 目今前條畧定ノ人負ニ超過スルアリト雖
此之ヲ減却スルニ不及ト云此今後減負アルキ右畧
定ノ人負ニ至ル迄ハ増負ヲ許サス

第五條 前條畧定ノ人負アリト雖此時トシテハ定
額金ノ都合ニヨリ減負スルヲアルヘシ然レハ本局
丞并寮頭ノ見込ヲ以テ御ノ決ヲ乞フヘシ

第六條 本省又ハ各寮ニ於テ課中十等以下ハ目今
ノ人負ヲ目的トナシ増負ヲ許サス

第七條 前條畧定ノ人負中孰カ或ハ勉強等ニテ昇
級ヲ稟申スルハ本局丞又ハ寮頭ノ見込ニ任スト雖
此強テ其分量ヲ越ヘサルニ注意スヘシ

第八條 一課毎ニ畧定ノ人負又ハ本官出仕備ノ制
限アルヲ以テ其課ニ於テ臨時事務ノ増加スルカ或
ハ他ノ規則變更ニ因テ別ニ一事務ヲ負擔スルカニ
非サレハ増負ヲ許サス尤事務上ニ差滯ニ無之ニ於
テハ畧定ノ人負中ト雖此可成文ケ之ヲ減少スルニ
注意スヘシ

第九條 畧定ノ人負ヲ増負スルヲレハ本省ハ本
局丞并各寮ハ頭ノ意見ヲ以テ其旨ヲ御ニ具状ス御
ハ定額金ノ有餘不足ヲ勘考シ之カ可否ヲ決スヘシ
但御決裁ノ書丹ハ職務課ニ藏置ス

第十條 凡ソ當省ヘ新々ニ判任官等外及傭兵換擧
スレハ其換擧セラルル本人履歷書ノ外別紙雛形ノ
如ク其人負ノ保證書ヲ以テ本局丞并頭ニ具状ス丞

頭ハ之ヲ審問探訪シ保證書ニ相違ナキトキハ之ニ
檢印シ換舉上申書ニ副フヘシ右保證トナリテ具狀
スルハ省中奉職ノ者奏判官トモ之ヲ保證スルヲ得
ヘシ

但本局丞或ハ頭ナル者ハ總テ其所管ノ判任官ヲ
換舉任用スルノ權アルヲ以テ親ラ換舉スル人負
ハ保證書ニ及ハス

第十一條 換舉セラレタル人負其課ニ任用スル間
保證書ノ條件ト相違シテ放免スルカ又ハ公罪ヲ犯
シ懲役一年以上ニ該ル刑ニ處セラルルキハ保證人
ハ本局丞或ハ頭ニ對シテ訖狀ヲ以テ其無念ヲ謝ス
ヘシ然ルキハ其保證人ハ我省奉職中ハ半ケ年換舉
人ノ保證人タルヲ禁スルヲ則リトス

第十二條 前條ノ場合ニ於テハ本省ノ官負保證人
トナリ各寮ノ人負ヲ換舉セシ片ハ其保證人訖狀ヲ
本局丞ヘ差出スヘシ各寮ノ官負保證人トナリ本省
ノ人負ヲ換舉セシ片ハ其保證人訖狀ヲ各寮頭ニ差
出スヘシ然ルキハ本局丞并頭ハ互ヒニ照管シ保證
人ヲ禁スル旨ヲ保證人ヲ管轄スル所ニタイテ本局
丞或ハ頭ヨリ申達スヘシ尤モ保證人他ノ官廳ヘ轉
任シ又ハ保證人既ニ免官スル片ハ第十一條ノ例ニ
非ス

第十三條 凡ソ當省ヘ新タニ換舉スル判任官ハ必
ス出仕官ヲ以テシ其等級ハ總テ十二等官以下タル
ヘシ備ノ者モ亦之ニ準ス
但一長技ヲ以テ換舉スル者并ニ他ノ官廳ニ奉職

ノ者ヲ各寮各課ノ都合ニヨリ該廳へ請求シテ我
省へ轉任セシムル者ハ本文ノ外タルヘシモ保
證書ノ手續ハ第十條ニ準ス

第十四條 新任ノ判任官ハ凡ソ六ヶ月間其能力ヲ
試験シテ後チ出任官ヲ本官ニ任シ又ハ本官ヲ出任
官ニ任シ又ハ其等級ヲ昇降セシム若シ保證書ノ條
件ト相違シテ其任ニ堪ヘサル片ハ之ヲ放免スヘシ
等外共ニ備ノ者モ亦之ニ準ス

第十五條 凡ソ判任官以下ノ者ヲ進退黜陟スルハ
年々六月十二月兩度本省ハ本局丞及ヒ各課長各寮
ハ頭及ヒ助各課長ト共ニ協議査覈シテ之レヲ施行
スルトナスモ其任ニ堪ヘス或ハ事故アリテ放
免スルカ又ハ新任ノ者六ヶ月間試験ノ上等級ノ昇

降或ハ放免等ハ此例ニ非ス

但新任官員ノ外一周年未滿ノ内昇級ヲ許サス
第十六條 従前府縣ニ奉職セシ者ハ審カニ該廳へ
通問スヘシ通問ノ上異議ナキモノト雖モ免官後滿
六ヶ月ヲ過サレハ之ヲ換擧スヘカラス

但其長官ヨリ推擧スル者ハ此限ニ非ス
第十七條 課長ハ奏任或ハ八等九等ノ本官ヲ以テ
之ニ課長ヲ命スルトス

但課長ヲ命スルハ各寮ハ其頭ノ意見ニ任スヘシ
本省ハ本局丞ノ意見ヲ以テ御ノ決裁ヲ受クルヲ
則リトス

第十八條 判任官 ハ等官ヨリ等外及備任用ノ上
ノ者ヲ通シテ之ヲ云 其材器其等級ニ適當シテ能ク勉勵スト雖モ之ヲ上

級ニ昇進スヘキ識カ才能アルニ非然レモ其等級ニ
安シ別テ繁忙ノ職務ヲ不厭巳ノ全カヲ盡シ拮据鞅
掌既ニ滿三ケ年ヲ經過スル者ニ限リ其等級ノ月給
一ケ月分ヲ午當トシテ賜ルヘシ

但午當金ヲ賜ルヘキヤ否ヤハ職務ノ繁閑ヲ區別
シ本省ハ本局丞各寮ハ寮頭ノ見込ヲ以テ卿ニ具
狀シ決裁ヲ乞フヘシ

第十九條 前條午當金ヲ賜ルハ概ネ其滿期ヲ過キ
テ後テ毎年十二月ニ具狀シ翌年一月中旬ニ賜ルモノ
トス當節ニ限リ本月中取調見込ヲ以具狀スヘシ 尤午當金ハ本省判任官
ハ本省ノ定額金各寮判任官ハ各寮ノ定額金内ヨリ
支給スヘシ右ニ付定額金ノ不足ヲ認ルキハ本局丞
共寮頭ノ心得ヲ以具狀セサルモノトス

第二十條 前條々ノ規則ニ於テハ卿ノ意見ヲ以テ
何時ニテモ改正増補スルヲアルヘシ 二月

保證書 用紙表濃紙 朱書ハ本人ノ能處ニ因テ記載方アルヘシ

姓 名

明治年月何年何月

技藝

一文學

漢學ハ普通ノ經書歴史ヲ讀ミ詩文章ヲ能ク普
通ノ俗文ハ相繼申儀

一筆學

大中小字ヲ能ク書ル

一洋學 英或ハ何

翻譯ノ下

一 算術 和或、洋

加減、乘除或、何術ニ長ズルヲ

一 性質品行

確實又、敏捷

右致保證候也

保證人

何官

姓名實印

明治年月日

姓

名實印

但左頭ノ保證ハ、撰擧上申書ハ右様者保證仕候也

卜末文ニ述ハ可三

某府士族元某縣

苗字姓實名

通稱

干支月日

一 任某官 或ハ某職 被仰付候事 申付候事

全上

一 免本官 或ハ某職 被免候事 差免候事

全上

一 御用有之何地へ出張 被仰付候事 申付候事

全上

一 賞典

全上

一 某官被任

全上

一 進于御沙汰候迄 東京滞在候是、通事務取扱可致事